

2024/7 No.23

計量協会報

一般社団法人 埼玉県計量協会



計量協会報 第23号 CONTENTS

会長挨拶	人も組織も栄枯盛衰	2
事業報告	第12回 定時総会 概要	5
事業報告	令和6年 新年賀詞交歓会	7
事業報告	日本品質保証機構 計量計測センター見学会	8
関ブロ報告	関東甲信越計量団体連絡協議会 運営委員会報告書	10
関ブロ報告	関ブロの名前を冠した初めての講習会	12
部会だより	指定検定機関の現状について	13
部会だより	流通業界を取り巻く状況 - 円安・インバウンド・包装容器 -	15
部会だより	ドキュメントハンドリングソフト DocuWorks の勧め (第5回)	16
大会レポート	第22回 全国計量士大会	18
検定所情報	目指せ、計量テニスプレーヤー	19
防災情報	いざというときのために シミュレーションのすすめ	21
編集委員会	計量 QUIZ	25
事務局	理事会だより	26
事務局	協会からのお知らせ	27
編集委員会	編集後記	30
今月の表紙	荒川水循環センター (戸田市)	

宇宙船のような画像は戸田市笹目地内にある荒川水循環センターの5号汚泥焼却炉です。一日に200tの汚泥と、下水中から除去したゴミや砂も同時に焼却しています。計量士は目立たないことから、縁の下の力持ちと表現されますが、埼玉県下水道公社やJVの方々は、24時間不休で下水道を維持管理する「真の縁の下の力持ち」です。【撮影：埼玉県計量協会 検査室 菱木 (撮影日 2016/11/17)】





会長挨拶

- 人も組織も栄枯盛衰 -

一般社団法人 埼玉県計量協会 会長 金井 一榮 かずえい

▶▶皆さんこんにちは

日ごろ、当会の事業運営に多大なご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、このところ、コロナという言葉を目にするのが少なくなりました。社会経済活動が活発になり、人々の移動に伴って交通機関や繁華街は以前と同様に混雑しています。円安もあって外国からの観光客も目立っており、場所によっては異国の地に居るような感じがします。会員の皆様におかれましても事業活動や日常生活が以前にも増して活発になっていることと推察いたします。しかしパンデミックが将来また起きることは間違いありません。その時に備えて確たる検証と対策を考えておくことが大切と考えます。

一方、昨年起こったパレスチナとイスラエルの戦争は、多くのパレスチナ人の命が失われ、特に子供たちが犠牲になっているにもかかわらず未だに停戦に至っていません。またウクライナにおける戦争も2年を過ぎてまだ続いています。外国人観光客と、おいしい食べ物の話題で溢れている日本の状況との大きな乖離を感じます。一日でも早く戦争が終わることを願うとともに、世界にはいろいろな価値観があることを忘れないようにしたいと思っております。

■第12回定時総会

このような中、去る6月12日(水)に、第12回定時総会を開催いたしました。

総会においては、第1号議案の令和5年度事業報告と第2号議案の令和5年度収支報告を一括審議とし、事務局から詳細説明を行って、監査報告をいただきました。その後、承認の可否を諮り、総会出席者の全員一致で承認可決をしていただきました。続いて第3号議案の定款の改正を審議していただきました。今回の定款改正は、埼玉県が収入証紙の取扱いを廃止したことによる関連条項の削除に係るもので、事務局から説明の後、承認の可否を諮り、異議なく総会出席者の全員一致で承認可決をしていただきました。

続いて令和6年度の事業計画及び収支予算について報告をしました。

今期も、役員一同、一致団結して会の発展のために頑張りたいと思います。会員の皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

■計量協会の現状

計量協会は、「計量思想の普及」と「適正計量の実施の推進」を主な目的とした団体で、この目的に賛同する個人又は法人などで構成されています。全国47都道府県と2市(政令指定都市)にあり、法人(一般社団法人、公益社団法人、特定非営利活動法人)と任意団体があります。近年、安定的な財政基盤の下に特徴ある事業運営を行っているところと、財政基盤がぜい弱となって事業運営が停滞気味になっているところが見られるようになってきました。

計量協会の活動の停滞は、地域の高齢化や人口減少、それらに関連した経済の状況、また計量協会に関わる人材の不足などが影響しているものと考えられます。情報技術の発展と変化のスピードが速くデジタル化が進む中で、どのように多様化する産業経済や広域化する事業活動に対応





していくか、また協会の目的に繋げていくのか、新たな発想の下に事業を再構築し、存在価値を高めていく力が試されています。

これからは、隣接県や地域間で共同して事業を行い、広域的に活動する産業界の要求に応じていくことや情報の共有化など、各計量協会間の連携を一層強化して効率的に事業を行うことが求められていると考えています。

翻って当協会をみると、現在のところ全国的に視て財政状況は中規模であるものの比較的安定しており、事業運営も堅実に行っていると評価をされています。しかし、今後とも安定的財政基盤の下に事業運営を行っていくためには、業務のデジタル化を一層推進し、また新たな発想で収益事業の開拓と拡大を図っていく必要があります。

そして何よりもこれらに携わる人材を育成確保することが必要です。今後も優先課題として中長期的観点から、人材の確保と育成に取り組んでいきます。なお、この取組みは、時代の要請と変化に柔軟に対応したものでなければならず、また何よりも財政的裏付けが必要です。

このため、一朝一夕に解決する課題ではありません。会の全体的体制強化の取組みの中で、順次検討し可能な限り速やかに取り組んでいきます。人材の確保と育成は、どの組織にとっても重要かつ優先度の高い課題であり、継続的に取り組む必要があるものです。

■ 鉢形城と寄居町

4月の中旬に、県立「歴史と民俗の博物館」で特別展「鉢形城主北条氏邦」を観てきました。これが思っていた以上に興味深いものでした。鉢形城跡は寄居町にあり、国指定史跡になっています。城主の北条氏邦は、小田原北条氏の3代目当主の北条氏康の子で、かなり有能な武将であったようです。この地は、当時交通の要衝であり、北関東支配の拠点として、また甲斐や信濃からの侵攻の備えとして重要な拠点であったとのことでした。

確かに地図で見ると鎌倉や小田原との位置関係から、関東を支配する上での重要拠点であることが伺えます。鉢形城の支配領域であった現在の秩父市、小鹿野町、寄居町や周辺地域には、氏邦やその家臣団ゆかりの文化財が多く残されているようで、展示物の中に、小鹿野町にある法養寺薬師堂に氏邦とその家臣団が奉納した木造十二神将立像がありました。これは一見の価値のあるものでした。

この特別展を観た後、鉢形城が頭から離れず、5月の雨上がりの快晴の日に鉢形城の散策に出かけました。かなり昔に行った記憶があったのですが、城跡はきれいに整備されていて初めて来た感じがしました。城跡から見下ろす荒川はとても綺麗でじっと見ていると自分が戦国武将になった気がしました。

城は、豊臣秀吉の小田原攻めの際に、北条方の重要な支城として前田利家・上杉景勝らの軍に包囲されましたが、よく耐え、最後は開城に至りますが、断崖絶壁の上に築かれた難攻不落の城であったことがよく分かりました。難攻不落は地形だけではなく、城主の氏邦と家臣団の意思疎通がとれていて、団結して戦う強固な組織を創り上げていたことも要因と思います。組織は人が一番大切だということを再認識しました。

今、埼玉県は、県南地域に人口が集中し中心となっていますが、鉢形城と地域の歴史文化を考えると、かつては、秩父・寄居地域が人と経済文化の中心であったのではないかと思います。

ところで、4月の下旬に、民間組織の「人口戦略会議」が将来的に消滅の可能性があると見なした744市町村を公表しました。埼玉県は63市町村中、16市町村が消滅可能性自治体とされました。

その中に秩父市、皆野町、長瀬町、小鹿野町、寄居町などが入っていました。鉢形城の支配領





域であった地域が消滅可能性自治体と重なるとは、歴史の面白さと対照的な栄枯盛衰に愕然としました。

※「消滅可能性自治体」: 人口減少に歯止めがかからず、自治体運営ができなくなる状態を指す。



鉢形城跡から観る荒川

■ 結びに

人も組織も栄枯盛衰は避けられません。その時をどう耐えて乗り越え、反転攻勢に繋げていくか、繋げることができるか、によって真価が問われます。

社会経済そして人が大きく変化する時代は、栄枯盛衰が鮮明になります。当会におきましても時代の変化に速やかに対応し、課題解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。

会員の皆様方の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

スポットニュース

令和6年5月29日（水）に開催された一般社団法人日本計量振興協会の第13回定時総会において、当協会会員の有限会太盛の川島 誠 様が永年の功績が認められ、会長表彰（計量関係功労者表彰）を受賞しました。おめでとうございます。

川島 様には日本計量振興協会から表彰状と記念品が贈呈されましたのでご報告いたします。



事業報告

(一社)埼玉県計量協会 第12回 定時総会 概要



当協会の第12回定時総会が、令和6年6月12日（水）にさいたま新都心のホテルブリランテ武蔵野で開催されました。当日は、会員及び賛助会員の26名の参加のもと、埼玉県計量検定所の浜所長、(一社)日本計量振興協会の宮沢専務理事、及び(株)計量計測データバンクの横田社長の3名の来賓をお迎えし、次の議題等が審議されました。

1 議 事

【議決事項】

○第1号議案 令和5年度事業報告について

令和5年度の事業は、定時総会、理事会の開催の他、計量思想の普及事業として「県民計量のひろば」、定期検査等の業務は指定定期検査機関としての受託業務や会員企業等の代検査受託業務・計量管理業務受託業務が計画通り実施された。部会事業としては、計量士部会の部会会議や計量計測管理技術研修推進小委員会の開催、計量証明部会の主任計量者資格取得講習会の開催、計量管理部会の適正計量管理講習会（製造部門向け）の開催、日本計量振興協会・埼玉県産業振興公社との共催事業の測定基礎研修が開催されるとともに、各部会合同の研修見学会が4年ぶりに開催された。

○第2号議案 令和5年度収支報告について

令和5年度の収支報告として正味財産増減計算書、財産目録、貸借対照表が報告された。正味財産計算書では経常収益として会費収入が約460万円と前年度より若干増えたこと、事業収益として計量管理推進事業収益や定期検査等委託収益が増え前年度と比べ大幅増となった。

また、収入証紙販売事業収益は県証紙の販売は昨年12月で終了したことから前年度と比べると半減した。事業集計の合計では前年度と比べると約450万円の増となった。経常費用としては事業費及び管理費とも人件費が増となり、前年度と比較すると若干の増となった。

⇒第1号議案及び第2号議案は一括して審議され、賛成多数で承認された。

○第3号議案 定款の改正について

定款の第4条の協会事業について、県証紙が昨年12月をもって販売を終了したことに伴い(10)の埼玉県収入証紙の販売の項目の削除と(8)の文言の整理を行う旨の説明が行われた。

⇒議決権の3分の2以上の賛成により承認された。

【報告事項】

○報告事項1 令和6年度事業計画について

令和6年度の事業は、新型コロナについて令和5年5月の感染症法の位置づけが緩和されたことからコロナ禍前の状態に戻して実施することや、引き続き計量士の高齢化対策、財政基盤の強化や収益確保対策に積極的に取り組む。

自動はかりの規制が令和6年4月から始まったことを受け、自動はかりに係る情報収集に努め当協会の定期検査事業に支障が無いように努める。



○報告事項2 令和6年度趣味財産増減予算について

令和6年度の予算は、経常収益の内の会費収入は現状維持、事業収益は計量管理推進事業や定期検査等委託収益が増収となるものの、物価上昇に伴う人件費や諸経費の経常費用の増加が見込まれるので、人材育成積立金を取り崩して対応する。また、県収入証紙の販売が令和5年12月に終了したことにより、収入証紙販売事業を終了する。

2 計量功労者表彰

総会終了後に、当協会の計量功労者表彰規定に基づき2名の表彰式が行われ、会長から表彰状及び記念品が手渡されました。

【参考】

(表彰の区分) ※表彰規定抜粋

第3条 表彰を受ける区分は次のとおりとする。

- 一 正会員の構成員及び事務局に従事する者で、その経歴が10年以上あり、計量業界の発展に寄与したと認められるもの
- 二 正会員の企業に従事する者で、当該企業に10年以上勤務し、計量業界の発展に寄与したと認められるもの
- 三 協会の役員として勤務経験が6年相当以上あり、協会発展に寄与したと認められるもの
- 四 前各号にかかわらず、計量の発展に関し特に著しい功績があったと会長が認めるもの

計量功労者表彰受賞者氏名

○埼玉ユニオンサービス

すず や ひろ のり

鈴谷 浩教 様



○川口鋳物工業協同組合

かわ な かず ひと

川名 一人 様



受賞者の記念写真（中央は金井会長）



事業報告

(一社)埼玉県計量協会 令和6年 新年賀詞交歓会



三遊亭 楽麻呂 師匠

当協会の令和6年の新年賀詞交歓会が、令和6年1月19日(金)にさいたま新都心のホテルブリランテ武蔵野で開催されました。当日は、第1部として「新春落語」、第2部として「賀詞交歓会」が行われました。ご来賓の皆様と約30名の会員の参加のもと、華やかな新年会となりました。

第1部 新春落語



熱演する三遊亭 楽麻呂 師匠

○出演者 三遊亭 楽麻呂 師匠

◇出身 千葉県船橋市

◇生年月日 昭和38年11月21日

◇経歴

- ・昭和57年 五代目三遊亭円楽師匠に入門
- ・昭和60年 二つ目昇進
- ・昭和61年 楽麻呂に改名
- ・平成3年 真打昇進
- ・令和4年 中国、インドなどで公演を行う

◇演目 小間物屋政談(こまものやせいだん)

【粗筋】背負小間物の小四郎は上方で商売をしようと旅に出ると、箱根で盗賊に身ぐるみはがされた小間物屋の若狭屋甚平衛を救う。小四郎は着物と路銀を貸し、返却の時のために住所姓名を書いた紙を渡すが、小田原の宿で息を引き取り、懐の紙で勘違いした役人が小四郎が死んだものと勘違い。確認に行った大家も着物と筆跡から小四郎と判断してまった大家は、葬儀を終えてわずか1月で小四郎の女房のおときを小間物屋三五郎と再婚させてしまう。戻ってきた小四郎は女房が再婚したことが納得できず奉行所に訴える。これを裁いた大岡越前守は、「男らしく女房を三五郎へやっつけてしまえ」と一方的な裁きを行うが、小四郎にも若狭屋甚平衛の女房と結婚し若狭屋甚平衛として生まれ変わるよう勧め、3人が幸せになった。

第2部 賀詞交歓会

賀詞交歓会では、金井会長の開会あいさつに引き続き、来賓の計量検定所の浜所長、日本計量振興協会の宮沢専務理事及び日本計量機器工業連合会の小島専務理事の祝辞、計量計測データバンクの横田社長の乾杯が行われた。

続いて、令和5年11月1日の全国計量記念日全国大会において、経済産業省産業技術環境局長賞を受賞した戸内 貴志様が紹介され、金井会長から当協会からの記念品(赤ワイン)が手渡されました。

最後は、吉川顧問の締めで賀詞交歓会が盛大の内に終了しました。



金井会長から記念品を受け取る戸内計量士



事業報告

日本品質保証機構 計量計測センター一見学会

報告：計量士部会長 恵田 豊



■見学の報告

ようやく春の兆しが見え始める中、八王子の JQA 日本品質保証機構の研修見学に参加してきました。JQA は公正な第三者機関としてマネジメントシステム・製品・環境等に関する認証・試験・検査等を実施しています。

○計量計測センターの概要

主なサービス内容は

- ・ 国家標準と産業標準を結ぶ標準供給機関として、幅広い分野の計測器の校正
- ・ ISO/IEC17025 の要求事項を満たした校正機関
- ・ 計量法に定められた環境計量器の検定

などがあります。

そして全国 19カ所ある拠点のひとつがこの多摩テクノパーク（計量計測センター）です。

当日（3月25日）は、小雨が降る中「南大沢」駅に12時40分に集合し、総勢17名で徒歩で見学先に向かいました。十数分歩いて JQA に到着、玄関エントランスより入館すると、カスタマーサービス課の担当者が出迎えてくれました。研修室に案内され、JQA の業務内容について PowerPoint により概要を説明いただいた後、午後1時半頃から A・B のグループに分かれて研修見学会が始まりました。小生は B グループでしたので、B グループの見学順で振り返りたいと思います。



研修室でカスタマーサービス課の担当者から説明を受ける参加者

① 放射線（X線とガンマ線の校正）

医療機関の CT・マンモグラフィー等の精度管理に使用される線量計の校正を実施している。γ線の校正に使用する放射線源は、密封型を使用することにより、飛散することなく安全に検査が出来るとの説明でした。

② 無響室（騒音計の校正、電化製品の音響試験）

吸音材を上下左右壁一面に配置し、騒音計の校正は 70dB～90dB の範囲で校正します。電化製品の音響試験はマイクロフォンを 9～10本使用して試験を実施します。

③ 電子計測校正（マルチメーターや電力計等の校正）

電子機器に影響のある空調については、吹き出し口にソックスを履かせた様に見えるソックスダクトから空気を循環させる様に工夫をするとともに、静電気の対策も施してあるとの説明でした。ここでの校正は国内はもとより、A2LA(米国試験所認定協会)の認定も受けているそうです。GPS 周





波数校正については、標準周波数発生器が常に産総研の標準器と同期しているとのことでした。その他、電子レンジの漏れの電波を測定する、電力密度計の校正も実施しているとのことでした。

④ 質量の校正

ここでは、分銅の E2 級～M3 級の校正をしているので、最上位の分銅は 1 回/3 年の周期で産総研で校正するとのことでした。使用するはかりの一部については、3 軸ロボットアームより制御され、自動的に校正が出来るそうです。

なお、分銅については、磁石、体積、表面粗さが規格に定められているとのこと、特に精度の高い分銅は音響式体積計を使用し体積を測定するそうです。

⑤ 長さの校正(ノギス、マイクロメーター、リングゲージの校正)

ノギスは 2000mm、マイクロメーターは 1000mm まで校正が出来るそうで、50 件/1 日程度申請があるとのことでした。その他、ガラススケール、ブロックゲージの校正を実施しており、3 回校正した平均値をとるとのことです。

⑥ 温度、湿度の校正

温度は -196℃ および -100℃ から 1200℃、湿度は 5%～98% の範囲で校正が出来るとのこと、温度計はアルコールや油の恒温槽等を用いて校正を実施していました。

⑦ 検定

- ・騒音計の検定(有効期間 5 年)は器差とレベル直線性 125Hz、1000Hz、4000Hz、8000Hz を検査
- ・振動レベル計(有効期間 6 年)は 4Hz～31.5Hz について検査
- ・大気濃度計(有効期間 8 年)で標準ガス(O は窒素ガス)を基準にして、一酸化炭素等の有毒ガスを検査
- ・水素イオン濃度計は検出部(有効期間 2 年)と指示計(6 年)で分かれており、検出部は pH4、pH9 で標準液により検査し、指示計は基準電圧で検査をするそうです。

以上、見学コースを担当ごとにリレー形式で説明を受け、参加者の質問等を交え、時間としては午後 3 時半頃見学研修を終了しました。詳しい内容等については、ネットでも検索していただければ幸いです。



玄関エントランスで記念写真(向かって左側の後ろの列の 2 名の女性が担当者)

なお、その後については参加者有志が大宮に戻り、事務局が予約した居酒屋で懇親を深めほろ酔い気分それぞれ帰路につきました。





関東甲信越計量団体連絡協議会 運営委員会報告書



関東甲信越計量団体連絡協議会では、令和4年度に開催した第1回計量大会（埼玉県開催）の提案議題であった「一般計量士の育成について」の具体的な取り組み方法について継続して審議することとなった。このため、令和5年7月13日の第2回代表者会議で運営委員会を設置すること決定。同委員会は約10ヶ月間の検討を行い、令和6年4月の第1回代表者会議で検討結果の報告を行った。

1 報告書概要

①構成メンバー

委員長 金井 一榮（一般社団法人埼玉県計量協会会長）

委員 小林 悌二（東京計量士会会長）

〃 小林 勇（神奈川県計量士会副会長）

〃 西方 一喜（一般社団法人新潟県計量協会専務理事）

〃 堀井 茂（一般社団法人東京都計量協会専務理事）

〃 山口 泰彦（公益社団法人神奈川県計量協会）

事務局 小堀 和弘（一般社団法人埼玉県計量協会専務理事）

②検討内容

運営委員会では、(A) 都県の垣根を越えて共同で実施できる事業の展開、(B) 計量士のデータベースの構築、(C) 計量士登録を容易にするための制度改正の要望の3つのテーマについて計8回の委員会を開催して検討を行った。

③提言内容

(A) 都県の垣根を越えて協同で実施できる事業の展開

- ・計量士の技術や技能向上のための講習会・見学会を隣接都県で共同開催する
- ・各団体で開催している講習会や見学会を他の団体会員にも開放する
- ・単独では依頼しにくい国等機関の幹部職員を講師とした関ブロ名の広域的講習会を開催する
- ・一般計量士の業務紹介の映像や計量団体入会用パンフレットを共同で作成する

(B) 一般計量士のデータベースの構築

- ・代検査を行う計量士のデータバンクとして、公開希望の計量士のリストを作成し公開する

(C) 一般計量士の登録を容易にするための制度改正の要望（実務経験の要件の見直し）

- ・国家試験合格者について環境計量士と同様に講習会の受講の選択肢を加える
- ・計量講習修了者について実務の内容を「質量に係る計量」から「計量に関する」に改正する

◎提言のまとめ

一般計量士の育成については、個々の団体だけで解決することは困難である。関ブロとしても同協議会のホームページを開設するなど積極的な情報発信が望まれる。

また、構成団体は相互にホームページのリンクを貼るなど情報の共有化を図り、関ブロとしての一体感や連携強化を高める必要がある。



2 広域的講習会の開催について

同委員会では、提言内容（A）の「単独では依頼しにくい国等の機関の幹部職員を講師とした関ブロ名の広域的講習会」の実現の可能性を探るために、令和6年2月に日本計量会館で関ブロが主催の講習会をテスト的に開催し課題等を検討した。

（1）講習会概要

テーマ①：新しいキログラムの定義とキログラム原器の重要文化財指定

講師：産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門 倉本 直樹 氏

テーマ②：計量器規制の概要及び自動はかり規制の現状

講師：産業技術総合研究所 法定計量管理室 神長 亘 氏・大谷 怜志 氏

（2）検討項目

①募集方法や申込方法について

②受講料の設定について

③受講料の徴収について

④オンラインの技術課題について

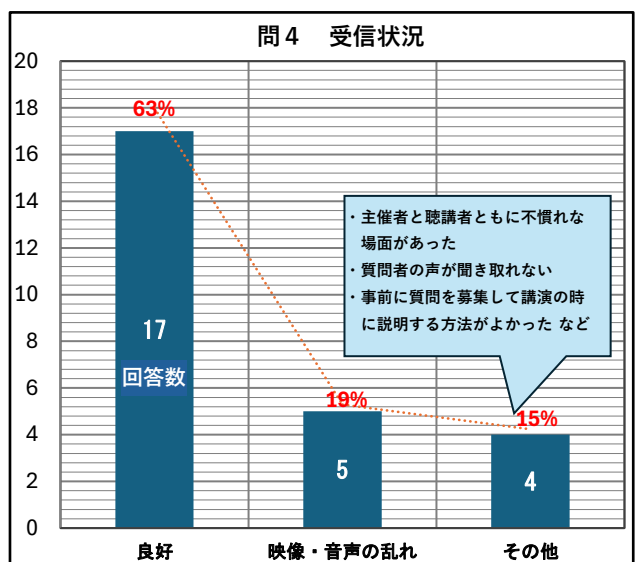
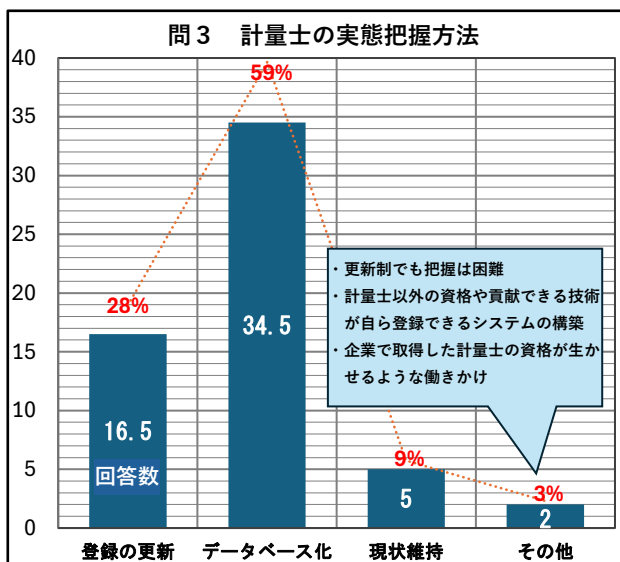
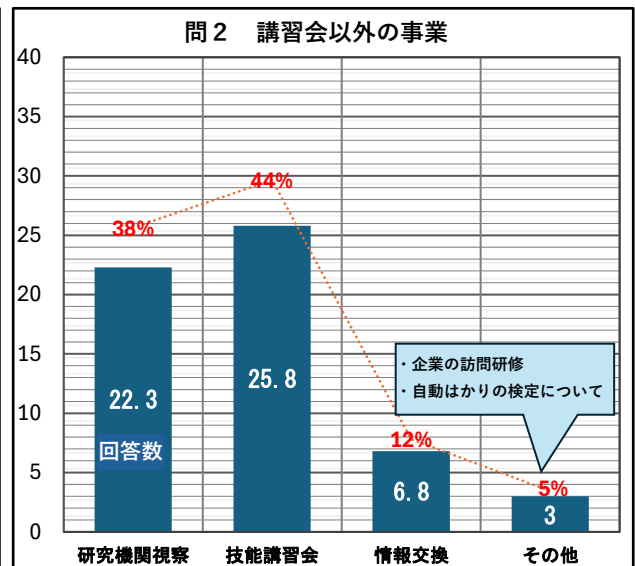
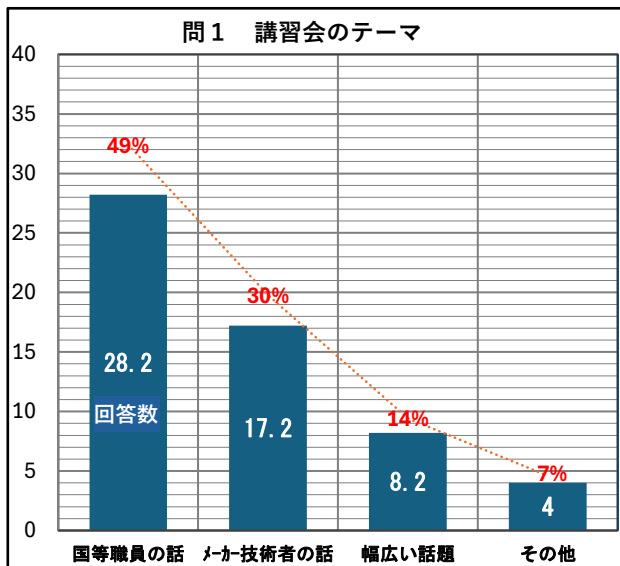
⑤運営体制について

⑥テーマ設定について

（3）開催結果について

会場参加が40名、オンライン参加が52名となり想定を超えた受講者となったが大きなトラブルもなく開催できた。また、アンケート結果でも開催について肯定的な意見が多かった。

【アンケート結果】※回答者数：58人





関ブロの名前を冠した 初めての講習会



報告：計量士部会 岩田 哲士

関東甲信越計量団体連絡協議会（以下：関ブロ）の講習会が、令和6年2月16日（金）に日本計量会館にて開催されました。この講習会は関ブロが主催し、その構成団体が直面する共通の課題や問題点について、政策を決定する行政機関や国の研究機関等の職員から現在の状況や今後の方針について話を聞くことにより関ブロとしての共通認識を高め問題解決の糸口を探る目的があります。

■講習会の概要

今回は初めての試みであり、幹事県として埼玉県計量協会の運営委員がWeb設定も含めた設営準備と議事進行を行いました。関ブロが主催することで、各都県の計量協会や計量士会などが単独では招へいする事が難しいような講師の方に来ていただいて、大変充実した講習会となりました。参加者は会場参加が40名、オンライン参加が52名の合計92名でした。今後も引き続き開催されることが望まれます。金井会長はじめ運営委員の皆様大変お疲れ様でした。



会場風景

今回は、第1回目として次の2つの講習プログラムが行われました。

【講習1】



倉本 氏

テーマ：新しいキログラムの定義とキログラム原器の重要文化財指定

講師：産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門

首席研究員 くらもと 倉本 なおき 直樹 氏

【講習2】

テーマ：計量器規制の概要と

自動はかり規制の現状

講師：産業技術総合研究所 計量標準普及センター

法定計量管理室室長 かみなが 神長 わたる 亘 氏

〃 主幹 おおたに 大谷 きとし 怜志 氏




神長 氏

大谷 氏


※当該講習会は、令和6年度の第1回代表者会議において運営委員会の報告が行われ、今年度も継続して実施することが決定しております。内容等が決定しましたら会員の皆様にもご案内しますので多くの方の参加を期待しております。（埼玉県計量協会事務局より）





指定検定機関の 現状について

計量工業部会長 村田 豊



昨年の5月連休明けより新型コロナウイルスは5類に分別され、ほぼ一年が過ぎました。まだマスク姿の人も見かけますが、暑さへの対応もあり、街中でほとんど見かけず、以前の生活が完全に定着してきたのではないかと思います。新年度が始まり、職場での異動があったり、又弊社では6月末には新入社員の研修が終了し配属が決まりますが、職場異動の歓送迎会、新人の歓迎会が以前の様に行われると思います。

■指定検定機関

弊社 株式会社エー・アンド・デイは、令和3年10月に非自動はかり、自動捕捉式はかりの検定機関として指定を受け現在に至っています。令和6年6月現在、非自動はかりの指定検定機関は弊社一社のみ、自動捕捉式はかりの指定検定機関は弊社を含め5社となっています。エー・アンド・デイにおける、指定検定機関業務の現状を少々紹介します。

■非自動はかり

非自動はかりは、検定を受けている秤の修理後の検定作業が主な業務となっています。基本的には持ち込み修理検定が主です。エー・アンド・デイの製品だけではなく、他社製品も検定業務を行えますが、他社製品が持ち込まれることは稀です。

令和3年10月に指定を受けましたが、実際にはインボイス制度対応とか、消費税0%対応（修理費は消費税10%だが、同じ伝票で検定費用は消費税0%で記載しなければならない）とか、設備 場所等の整備に時間がかかり、実際に弊社で業務を開始したのは、令和4年度の後半になってしまいました。

開始後は、順調に検定作業を社内で行う事ができております。お客様に一番喜んでいただいているのは、修理検定の期間が短くなったことです。それまでは修理が終了した検定待ち商品がある程度まとまるまでこちらで保管しておいて、埼玉県検定所に持ち込むか、検定所の方に弊社に来社してもらい、検定作業を行っていました。自社で検定作業が可能となりましたので、急ぐ場合は修理終了後そのまま検定作業を行う事ができ検定品の修理対応が迅速に行えるようになりました。

もう一つお客様への対応で変わった事は、修理検定を行う場合、「検定見積確認書」という書類でお客様の検定実施に対する意思確認を行う事になりました。検定品の修理の場合、修理後自分で検定所に持ち込んで検定を行う可能性もあるので、（ほとんど無いとは思われますが）修理は行うが、検定を弊社で行わないというケースが出来る様になるとい、計量行政室からの指導がありました。この為確認の書類が増え、面倒になったせいもあるかもしれませんが、弊社で検定作業を行う様になってから、以前より検定台数は減少しています。

指定検定機関申請は書類の用意、社内の業務変更等、大変な作業でしたが、無事指定が受けられ、その後の実務作業はスムーズに業務が行われています。



【自動捕捉式ばかり】

自動捕捉式ばかりの検定制度は長い時間検討され一時コロナウィルスの問題もあり実施時期が遅延されましたが、現在既に一部の運用が始まっており、本年4月からは新規に設置される自動捕捉式ばかりは設置時検定を受けなければならなくなりました。弊社も非自動ばかりの指定と同様に令和3年には自動捕捉式ばかりの指定を受け検定を行える体制は整備されております。

お客様からは検定費用の見積もりをかなりの数依頼され、それぞれのお客様に見積書を提出しています。しかしながら、実際に検定を受けられるお客様は非常に少なく、型式承認された自動捕捉式ばかりの出荷量も通常のモデルに比べて大変少数です。お客様との話の中で出てくるのは、通常食品等で袋詰めされた商品を作る場合、まず自動充てん機に充填用自動ばかりが付いており、これは現時点では検定が開始されていませんが、特定計量器なので、取引証明に使用できます。同じ物を計量する同一ライン上に特定計量器が2台ある必要はないわけで、一台あれば十分ですという事です。

自動捕捉式ばかりが使われる自動化ラインには充填用自動ばかりが装備されており、ほとんどの場合、自動捕捉式ばかりは、品質管理用に使われており、取引証明には使われていないと思われます。現在の計画では充填用自動ばかりは、4年後の令和10年4月に検定開始という予定になっていますので、そちらの検定が始まれば、ユーザー側は充填用自動ばかりの検定と自動捕捉式ばかりの検定とどちらの検定が簡単で費用がかからないかにより、検定機種を選択が始まって来るのではと思われます。とは言っても、自動捕捉式ばかりを取引証明に使う場合もありますのでお客様の認知が上がれば、検定業務は増えて行くのではないかと思われます。



適管以外用検定証印

新年度は、コロナ騒ぎが収まって一年以上経過し、通常のコロナ前の生活状態に完全に戻り、経済活動も以前と同じ状況になっています。今年も昨年同様の「工業部会」としての活動を行って行く予定です。ですので、よろしくお願いいたします。

▶▶ 指定検定機関に関する情報は国のホームページに掲載されています


指定検定機関 (METI/経済産業省)

https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/techno_infra/shiteikenteikikan.html

○器差検定を行う指定検定機関：自動ばかりの検定を実施する機関として、現在（令和6年3月現在）5社が指定されています。

⇒詳しくは経済産業省のホームページをご覧ください。






流通業界を取り巻く状況

- 円安・インバウンド・包装容器 -

前流通部会長 恵田 豊



■相変わらずの円安に伴う商品の値上がり

流通部会会員の皆様におかれましては、中元から真夏の商戦の真ただ中にいらっしゃるかと思います。流通業界を取り巻く状況はだんだん回復して来ているとはいえ、日米金利差等の影響で為替レートが昨年同時期でドル円140円台だったのが、今年は150円台後半、ユーロ円では160円台後半とドル円については34年ぶりの160円台をつけるなど円安傾向になってしまいました。当然、輸入物価が上がりますので、それに付随して様々な輸入商品が値上がりしています。消費を刺激する起爆剤としては、バブル期越えの株高や各企業のベースアップ、政府の定額減税なども実施されたところですので、消費行動に結び付けられればと思います。

■インバウンドの恩恵は三大都市に集中

なお、流通業界においてはインバウンドが大変好調の様に見えますが、そのほとんどが東京、大阪、名古屋の三大都市圏に集中しているため地方部での恩恵はあまり見られないのが現状の様です。昨年の4～12月の訪日消費額は東京都(1兆1,268億円)大阪府(6,306億円)で全体の6割を占めているとのデータが2024年版観光白書で発表されており大都市圏と地方ではインバウンドによる景気回復を実感するには、その状況に差があるようです。

また、流通業界を取り巻く状況の内、物流がらみの2024年問題、燃料油の上昇、電力料金の上昇の問題もあり、乗り越えなければならない状況がありますが、その様な中でも計量の基本に変わりはなく、適正な計量を実施することで、無駄を省き、お客様にとっての「安全・安心・信頼」を確保することが、ますます重要な課題となっているような気がします。

■原材料高騰に伴う包装容器の軽量化への計量面での工夫

さらに、このような時期には包装容器が原材料高騰の影響で、同じ大きさでも軽めになる傾向があるので、新たに容器等(風袋)が納品され、定番の容器から変更した際に、店等やバックヤードの計量器に容器の重さ(風袋)をプリセット設定するときは、少し手間ですが、計量する際に使用する容器を10枚量り、1枚当たりの重さを算出し、小数点以下の端数を切り上げて設定することで、正確な風袋設定が出来ますので参考にしてください。

流通部会の活動状況につきましては、前年度と同様に会員各社店舗の「計量士による計量士による代検査」等を引続き実施する予定ですし、計量検定所の改修工事に伴い、このところ開催出来ていない例年2月に実施している適正計量管理主任者を養成する「適正計量管理講習会」(流通部会)についてもリニューアルして開催できる様にしていきたいと思っていますので、何かご要望等がありましたら、計量協会事務局迄ご連絡いただければと思います。

近年は世界的に異常気象による影響が様々な形で出てきており、猛暑も続くことから、そのような中、働く皆様におかれましては、熱中症にならないように水分補給に十分に注意するとともに、健康に留意され、ご活躍くださることを祈念いたします。



ドキュメントハンドリングソフト DocuWorks の勧め（第5回）

計量器販売部会長 松村 卓

ビジネスソフト DocuWorks について第5回目として寄稿させていただきます。

前回は iPhone や iPad の携帯端末で、無料のビューアソフトを使い、DocuWorks データーを確認出来る事をご紹介しましたが、今回は PDF では出来ない、DocuWorks の便利な使い方を簡単にご紹介します。

昨今、データーのセキュリティーに関しては、より重要度が増しており、メールで送られてきた pdf データーを開く受ける際、指定されたパスワードを要求される場合があると思いますが、同じように DocuWorks データーにロックを掛け、パスワード入力をしないと開けない設定が出来ます。

私個人は、クレジットカードの表裏をスキャンして、DocuWorks データーのパスワードを入れて保存しております。

図を見て頂けますと、③がパスワードが必要な DocuWorks データーになります。カギのアイコンをクリックして、パスワードを聞いてきますので、パスワード入力後、操作が出来、セキュリティーが担保されます。④はパスワードを掛けていない、通常の DocuWorks データーです。又、①と②は、オリジナルデーター(エクセルデーター・pdf データー)をそのままに、DocuWorks デスクに保存することが出来ます。通常 PC に、エクセル・pdf データーともに、アイコンとタイトル名で保存され、開かないと内容が分かりませんが、図の様に DocuWorks デスクに、サムネール(縮小画面)で保存されるので、直感的にイメージが分かります。

詳細を確認したければ、DocuWorks データーの右下の紙をピンで止めているアイコンを、クリックすれば、エクセルや pdf ソフトが立ち上がり、確認・修正・印字と、通常と変わらない作業が出来ます。

その様な、多種多様なデーターを、ホルダーに別けて分かりやすく整理して保管する事で、必要な書類又はデーターの検索が短時間で効率良く出来るので、使用されることをお勧めさせていただきます。紙媒体と、電子データーの良いところ取りをしたのが、ドキュメントハンドリングソフト DocuWorks です。まずは、60日間無料ダウンロードで使って頂き、実感をして頂ければと思います。





DocuWorks Desk

ファイル(E) 編集(M) 表示(V) 文書(D) ページ(B) ツール(T) ヘルプ(H)

メール
メモ
メモ帳
ユーザー

① エクセルデータ-1/2 PDFデータ-1/2 DWデータ-1/2 DWデータ- (セキュリティ有効) DWデータ-

② ③ ④

JCSS分銅校正 F1級、200・100・50 g 持ち込み品リスト 再見積24 JFS@_20240528094423

計量器 点検要領

JCSS校正 校正証明書等サンプル 作業要領書 20240302 V...

一般機器表

ごーがー名の各フォルダーです。 ごーがー名の各フォルダーです。





大会レポート

第22回 全国計量士大会

主催 一般社団法人 日本計量振興協会



趣旨

全国計量士大会は一般社団法人日本計量振興協会の計量士部会（現部会長は埼玉県計量協会金井会長）の企画立案のもと、計量制度の動向や技術革新に関わる最新情報を提供するとともに参加者相互の情報交換の場を設け、計量士の職域拡大と力量の向上を支援することを目的としている。今年度は計量士から要望が強かった東北地区仙台市において開催された。

【大会の概要】

- 開催日：令和6年3月29日（金）
- 場 所：仙台国際ホテル
- 参加者：130名
- 来 賓：経済産業省計量行政室室長
仁科 孝幸 氏



会場風景

1 状況報告

日計振の計量士事業の取り組み状況
専務理事 宮沢 敬治 氏

2 意見交換

■メインテーマ「計量業務の効率化と拡大」

これからの計量士は、法定の計量管理業務はもとより、時代の要請に応え得る計量業務の効率化を進め、計量に関する国際規格に対応した、広義の「計量管理」も取り入れつつ、自主計量管理の推進、加えて新たな業務範囲となる自動秤等指定検定機関での活躍へと業務の拡大を目指し計量業務を魅力あるものへと転換していくことが求められている。

発表は、検査業務をシステム化して効率化に繋げる事例、国際規格を活かした「計量管理」の取り組み及び指定検定機関との役割について3名の計量士が行った。

■コーディネーター 一般社団法人計量計測センター 主幹 堀田 圭一 氏

■発表・意見交換

発表1 「業務の効率化に向けて～計量システムの活用と課題～」

発表者：計量士 水上 大輔 氏（一般社団法人宮城県計量協会）

発表2 「国際規格を活かした“計量管理”の取り組み」

発表者：計量士 根田 和朗 氏（一般社団法人茨城県計量協会・

有限会社三協インターナショナル 生産部部長）

発表3 「指定検定機関と計量士の役割」

発表者：計量士 山本 浩之 氏（東京計量士会・全国はかり検定株式会社 代表取締役）

なお、意見交換終了後に懇親会が行われました。



検定所情報

目指せ、 計量テニスプレーヤー

検査検定担当 金子 たかほ 雲帆

自己紹介

～平日は計量業務、週末はテニスプレーヤー～

こんにちは、初めまして。計量検定所に配属されて早2年、日々計量業務に勤しんでいる金子雲帆です。簡単に私の経歴をお話ししますと、令和元年度に埼玉県庁に入庁し、新規採用職員として埼玉県産業技術総合センターに配属されました。産業技術総合センターでは、金属材料の非破壊検査をメインで担当していました。具体的には大型のX線CT装置を使って、鋳物の欠陥などの検査をしていました。

計量検定所の業務内容とは大きく異なりますが、仕事に対する姿勢や取り組み方など、活かせるところは活かして職場に少しでも貢献したいと思っている所存です。

プライベートでは週末テニスプレーヤーとしてがんばっています。今年も川口市のテニス大会に出場し、1勝でもできたらと思っているところですが、まずはチームのスタメンになるところからですね(昨年度はベンチでした…)



検定所のアジサイをバックに撮影 (筆者)

社会人になり、運動する機会がめっきり減ったなあ、、、と思い、最初は息抜きと減量のために始めたテニス。近所のテニススクールに入会し、いざ初めてみるとこれがまあ面白い。

ただ力に任せて打つだけではなく、ボールにスピンをかけたり、スライスボールを使ったり、時にはネット付近まで出てボレーで相手にプレッシャーをかけた。相手との駆け引きの要素も大きく奥が深いスポーツだなあとしみじみ感じています。

メンタルを強く持つことも試合において重要で、豆腐メンタルの僕からすると、メンタル強化を是非ともしたいところ(仕事でも活かそう)。

ちなみに大ファンであるスペインのプロテニス選手、ラファエル・ナダルが今シーズン限りで引退をするとのこと。彼のプレーはしつこくボールを追いかけてまわし、届かなそうなボールでも最後まで決して諦めずボールを追う、そんなスタイルですが、「最後まで決して諦めない」そんなナダル選手の姿勢を自分も見習いたいものです。



2年間働いてみての感想

～計量無くして、県民生活の安心非ず～

計量検定所に配属されるまで、どんな仕事をしているのか。どんな形で県民の役に立っているのか全く未知でした。実際に働いてみると、社会や生活に密接している業務であり、陰で消費者や社会を支えていると感じました。身近なガソリンメータやタクシーメータ、スーパーのはかりなど今まで本当に正しいのかと疑ったことがありませんでした。しかしそれは大きな間違いで、これらは定期的に検定・検査を受けることによって正確さが確保されているのだと知りました。

仕事の規模も大きいと感じています。当然ですが、県内の特定計量器を全て網羅する必要があります(年間にタクシーだけで5,000台近く、燃料油メータだけで1,500台近く)。これらの業務を検査検定担当の10人程でこなしているのですから、我ながらすごいことだと自画自賛したくなることがあります。

基準分銅の基準器公差もかなり厳しいものだと感じています。例えば20kgの基準分銅の場合、2級だと1g、1級だと300mg、特級に至っては、100mgしか公差がありません。ものすごく繊細な業務に携わっているのだと実感します。

最後に

2年間計量業務に携わってきましたが、まだまだ覚えることや勉強の余地があると感じています。仕事にプライベートに日々精進して行きたいです。

タクシーの装置検査の様子



防災情報

いざという時のために・・・ シミュレーションのすすめ

クリエイト株式会社 防災士 関山 よしのぶ 佳延**■はじめまして**

昨年度の「県民計量のひろば」に防災コーナーとして防災グッズを展示しましたクリエイト株式会社の関山と申します。

クリエイトは1916年（大正5年）にバルブ・継手商 福井清一商店として創業致しました。以来、100年以上の間パイプや継手といった管工機材の卸しによって人々の快適な住環境づくりに貢献してまいりました。

現在は日本全国約40カ所の拠点を設け国内に関連会社を擁し、従来の分野に加えてリフォームや環境といった新たな分野でもビジネスを展開しております。その他、そのネットワークを活用し、各自治体等に向けて防災用品や防災備蓄品等をご提案する活動（納入実績：防衛省、東京都自治体等）も行っております。

CREATE



クリエイトHP

皆様もご存じの通り今年の元旦、「能登半島地震」が発生し多くの方が被災されました。今現在も日常の生活に戻れず困難な生活をされている方も多くいらっしゃいます。改めまして、被災された方々へお見舞い申し上げます。

さて、日本ではいつどこでも災害級の地震が発生してもおかしくない状況が続いております。もちろん埼玉県内も例外ではありません。能登半島地震で発生した震度7クラスの超大型地震も予測されていたものではありませんでした。（気象庁震度階級のなかで震度7は最大値となります）このような状況下で、この度執筆の機会を頂きましたので、僭越ながら私が地震の備えについてとても大切と考えていることをお伝えできればと思います。

■災害に関わる計測について**① 震度測定**

日本では、気象庁・地方公共団体・防災科学技術研究所等約4,300カ所以上(2024年3月時点)で計測されています。各計測地点では、計測震度計と呼ばれる装置で自動的に震度を計測しておりますが、以前は震度を体感で決めていたという時期もありました。

計測震度計処理部



計測震度計感部



震度計（気象庁WEBサイトより）

② 風向風速計

強風が甚大な災害を起こす事もめずらしくありません。その風向、風速を計測しているのが、風向風速計です。こちらの風向風速計は90m/s以上の風速にも耐えられるように作られています。ちなみに風速における台風の定義は、低気圧域内の最大風速（10分間平均）がおおよそ17m/sとなります。

風向風速計



（福岡管区気象台WEBサイトより）



■ 埼玉県の災害対策



(吉川市 WEB サイトより)

埼玉県内で大きな被害をもたらしている気象災害のトップ3 は、大雨・雷・雹（ひょう）による被害です。（全国歴史資料保存利用期間連絡協議会サイト内情報参照）大雨による災害が多い理由として埼玉県には河川の合流点が多く、本川から支川への逆流や、支川から本川への排水不良など、洪水時に水位上昇しやすい原因を抱えています。

さらに、南東部はお椀の底のような地形になっていることに加えて地盤沈下の深刻な地域でもあることから、特に降った雨がたまりやすく、はげにくい地域です。（埼玉県 HP 参照）

埼玉県では災害時における防災活動拠点として、県内に5カ所（越谷、新座、秩父、中央<川島>、熊谷）整備されています。水害対策として一級河川流域の自治体では水害に特化した防災訓練を実施、またハザードマップの周知に力をいれる等対策を行っております。水害が発生する可能性

が高い地域では想定浸水深がわかる標識等の設置がされている場所もあります。

■ 県民計量のひろばに参加させて頂きました

2023年11月1日に開催された「県民計量のひろば」に防災ブースを出展させて頂きました。進化した非常食や災害対策品等を展示させて頂きました。実際に防災備蓄用マットを体験できるコーナーも設け、はじめて災害用マットで寝た方からは「想像していたよりも寝やすい」というお声も頂戴しました。

その他、避難所や被災した際に不安に思っている事等、今後の防災に役立てることのできる貴重なご意見も頂く事ができました。ちなみに、皆様が一番不安に思っている項目はトイレでした。



防災展示品について説明している筆者

▶▶▶ 普段から災害に備えた準備をしていますか ◀◀◀

■ いつくるかわからない「いざという時のために」

・・・シミュレーションのすすめ

みなさまは、災害級の地震が発生したときの具体的なシミュレーションをしたことがありますでしょうか？実はこのシミュレーションをより細かくしておくことが、いざという時に役に立つ事と考えております。

⇒例えば、災害級の地震が発生した時に、

- ・自分がどこにいるか（自宅、職場、通勤・・・）
- ・昼、夜、時間帯 等
- ・寒い季節か温かい季節か
- ・誰と一緒にいるか 等々

→ 一日の中でも生活環境が変化します。

何事もそうですが、練習や経験無しにいきなり本番をむかえてもなかなかうまくいかない様に生活をしている中で、被災した際すぐその環境における最善の対応を取るのはなかなか難しい事です。できる限り多くの環境に対する対応をシミュレーションし、備えを行っておくことが大切と考えます。





⇒どんな準備をしていますか

- ・避難所の位置
- ・水の確保をどうするか
- ・逃げ場所の確認（安全確保）
- ・トイレについて
- ・健康を保つための事（薬、暑さ寒さ対策、睡眠）

もちろん一緒に生活している方がいればそのみなさまの事も合わせて考えることも重要です。お年寄りの方、お子様、妊娠されている方等 いらっしやればなおさらの事です。

こういったシミュレーションしたものを頭で考えておくだけでなく、何かに書き留めておき共有することも有効です。昨今、ホームセンターやショッピングセンターでは災害対策品コーナーが設けられているところもよく見かけます。シミュレーションした上で、役に立ちそうなものは何かないかを見つけるために、立ち寄ってみるのもいいでしょう。

■実際に体験してみる

能登半島地震でも問題視された【水】と【トイレ】など、被災した状況を体験しておくこともお勧めします。

▶▶一日必要とされる1人あたりの水の量は・・・ 飲料水として3ℓ + 生活に必要な水の確保
⇒この水の量を目安に一日過ごしてみる

▶▶非常用トイレを使用してみる・・・

⇒普段使用したことのないトイレを使ってみる。非常用トイレを使ってみる事で、非常用トイレには、既設の便器に袋をセットしてその袋の中に処理剤を入れるものや、便器も非常時に組み立てて使用するものもあります。（ネット通販や店舗によってはホームセンター等で入手可能です）非常用トイレを経験する事により、いざという時の違和感を少しでも払拭できます。また、し尿処理の経験も大切です。

<非常用トイレ 参考資料（株式会社まいにち マイレット・トイレサプライシリーズ）>



<トイレ処理セット>
(1回分)
商品名：mini-1



<非常時用トイレ>
(小さく収納できるプラスチック製 便器)
商品名：プラダントイレ





＜非常時用テント＞
(非常用トイレを中に収めて利用可能)
商品名：レスキューテント

▶▶ 夜間、停電時における避難・・・

⇒ 闇夜の中の行動は困難を極めます。障害物や落下物等避けて避難する際に何が必要か（懐中電灯の位置等）、どこに逃げれば安全であるか等、各環境下の中で考えてみます。

▶▶ 自宅等 地震発生時安全な場所を確認しておく・・・

⇒ 屋内もそうですが、屋外に出たら上からものが落ちてくる・・・なんてことも想定されます。安全に身を置ける場所の確認も命を守る上で重要です。

※安全や健康面を確保した上で無理なく怪我のないように行ってみてください。

- 災害救助については、いつ助けにくるかわかりません。
- 助けを求めても、応じてもらえない事もよくある事です。

⇒ まずは3日間、ご自身の力で生き抜くことのできる準備を目標に備えをしてください。

(飲料水は1日 1人 3ℓ × 3日間 = 9ℓ が最低必要な確保量となります)

⇒ 期限の切れた保存水も、保管場所が許せばそのまま取っておくことをおすすめします。

いざという時には、体を拭いたり、シーツの重りにしたり等 何かと活用することができます。

もちろん災害は地震、水害、だけではなく台風、竜巻等さまざまな形でやってきます。

災害が発生しないに越したことはありませんが、万が一発生した際には一人でも多くの方が無事であり困難な状況にならない事を、切に願っております。是非ご参考にさせていただければ幸いです。



計量 QUIZ

【計量クイズ 23】 (料理の計量)

問題

料理で使う「量」のクイズです。次が示す分量の大きさはいくらでしょうか？
 選択肢から選んでください。

計量カップ1カップ _____ mL
 炊飯器用カップ1カップ _____ mL
 大さじ1杯 _____ mL
 小さじ1杯 _____ mL

選択肢

250 200 190 180 170 150
 100 50 30 20 15 10 5 3

解答

表現	分量	はかり方
計量カップ 1カップ 炊飯器用カップ 1カップ (1合*)	200 mL 180 mL	容器の真横から目盛を読み取る
大さじ 1杯 小さじ 1杯	15 mL 5 mL	粉状 すりきりにする 液状 表面張力で盛り上がった状態

※合：尺貫法の体積の単位で1升の1/10のこと。正確には(2401/133100) m³ ÷ 10 ≒ 180.39 mL
 因みに他の用語も紹介すると

表現	語意	具体的分量 (塩の場合の参考例)
ひとつまみ	親指、人差し指、中指の三本指でつまんだ分量	約 1 g 約 小さじ 1/5 杯
少々	親指と人差し指の先でつまんだ分量	約 0.6 g 約 小さじ 1/8 杯 注) 資料によってかなり幅があります

クイズ担当：栗原 良一



事務局

理事会だより



埼玉県計量協会の理事会は、協会報第22号に続き令和5年度は第3回・第4回、令和6年度は第1回が開催されておりますので、これらの協議・報告事項について紹介致します。

○令和5年度

第3回理事会 令和6年1月19日（金）

- (1) 議題1 就業規則の改正について
⇒事務局から職員の自己都合退職の場合の具体的な手続きを定める旨の説明があり承認
- (2) 議題2 会員の入会について
⇒事務局から4名の入会申込があった旨の説明があり承認
- (3) 報告1 関東ブロックの計量大会（長野大会）の開催結果について
⇒事務局から長野大会の開催概要が報告され了承
- (4) 報告2 第18回県民計量のひろばの開催結果について
⇒事務局から開催結果が報告了承される。
- (5) その他 ⇒事務局から日本品質保証機構を3月18日に見学する旨の説明があり了承

第4回理事会 令和6年3月27日（金）※オンライン併用

- (1) 議題1 令和6年度事業計画について、
⇒事務局から令和6年度の事業はコロナ禍前の状況に戻して実施する旨の説明があり承認
- (2) 議題2 令和6年度予算について
⇒事務局から令和6年度予算は収入証紙販売事業が無くなること等の説明があり承認
- (3) 議題3 定款の変更について
⇒事務局から県証紙の販売終了に伴い定款の改正を行う旨の説明があり承認
- (4) 議題4 日本計量振興協会会長表彰の推薦について
⇒事務局から、(有)太盛の川島氏を推薦したい旨の説明があり承認

○令和6年度

第1回理事会 令和6年5月8日（水）※オンライン併用

- (1) 議題1 令和5年度事業報告について
⇒事務局から令和5年度事業はコロナ禍前の内容で事業が実施できた旨の説明があり承認
- (2) 議題2 令和5年度収支報告について
⇒事務局から財務諸表の説明の後、岩淵監事から監査報告がなされ承認
- (3) 議題3 会長表彰の推薦について
⇒事務局から、鈴谷様及び川名様を推薦したい旨の説明があり承認
- (4) 議題4 第12回定時総会議案書について
⇒事務局から、議案書の内容について説明があり承認
- (5) 議題5 会員の入会について
⇒事務局から新年度になり新たに3名の入会の申込があった旨説明があり承認

記事担当：小堀 和弘（事務局）



事務局

協会からのお知らせ



■ 新会員のご紹介（敬称略）

計量士部会（入会年月日）

- | | | | |
|-------|--------------|--------|--------------|
| ○松村 優 | （2023年12月5日） | ○蔭山 壽一 | （2024年3月27日） |
| ○林 伸幸 | （2024年4月16日） | ○佐川 伸二 | （2024年4月22日） |

■ 講習会のご案内

講習会等の開催は会員の皆様へ随時ご案内いたします。また、ホームページに随時掲載しますのでご覧ください。

■ 指定定期検査機関としての定期検査の実施について

埼玉県および特定市の指定定期検査機関、指定計量証明検査機関として、大型はかり、電気式はかり等の定期検査を実施しています。令和6年度の定期検査実施区域においては、各市町村より取引・証明に使用する「はかり」についての調査があります。ご協力をお願いします。

令和6年度の定期検査実施区域については、埼玉県計量検定所または各特定市へご確認下さい。特定市は、さいたま市、川越市、越谷市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、草加市の8市です。

■ 代検査を依頼されたい方は

当ホームページで代検査を行う計量士をご覧になれます。依頼等については、計量士に直接お問い合わせいただきますようお願いいたします。

■ 会費のお願い

令和6年度の会費納入をお願いしております。いつもご協力を頂きましてありがとうございます。7月末が期限となっておりますので、宜しくお願いいたします。

■ 関東甲信越計量団体連絡協議会 計量大会（千葉大会）のご案内

- 開催期日：令和6年10月24日（木）から25日（金）
- 開催場所：千葉県成田市「アートホテル成田」
⇒参加を希望する方は事務局までご連絡ください。

■ 計量記念日事業「県民計量のひろば」のご案内

11月1日は、計量記念日です。

- 開催日：令和6年11月1日（金）
- 場 所：DOM ショッピングセンター（大宮駅西口）9時～16時

■ 令和7年 新年賀詞交歓会のお知らせ

令和7年の計量協会の新年賀詞交換会は、令和7年1月16日（木）に開催予定です。詳細が決定しましたらホームページ等でご案内いたします。奮って参加してください。



■ 協会報の原稿を募集しています

協会報は計量に関する情報だけでなく、会員の皆様の近況や会員企業の情報も掲載し、会員同士の情報交換の場としても活用していただきたいと思います。掲載する記事の内容は問いませんので、積極的に情報提供をお願いいたします。掲載を希望する場合は、ワードで原稿を作成しメールで事務局あてお送りください。

- 提出期限：1月号に掲載希望の場合は、前年度の11月末まで
7月号に掲載希望の場合は、5月末まで

■ 広告掲載のお願い

協会報には現在5社に広告をいただいております。ご支援ありがとうございます。広告を希する場合は事務局へ気軽にご相談ください。

➢ 広告掲載会社（50音順）

- 株式会社 イシダ
- 株式会社 エー・アンド・デイ
- 埼玉自動車工業株式会社
- 株式会社 寺岡精工 東京営業所
- 株式会社 日本製衡所

➢ 広告料

- A4 全面カラー広告：20,000 円／1 回（原則年 2 回掲載）
- A5 カラー広告（A4 の 1/2）：10,000 円／1 回（原則年 2 回掲載）

▶▶▶ 埼玉県計量協会の連絡先

- ▶ ☎ 048-666-4787 ▶ eメールアドレス：soumu@saikeikyou.or.jp
- ▶ 埼玉県計量協会ホームページ：http://www.saikeikyou.or.jp/

■ 埼玉県計量検定所の人事異動者（令和6年4月1日付け）

（1）転出者

氏名	職名	担当	転出先	転出先職名	転入先担当
西宮 弘	担当課長	立入調査・登録指導担当	北本県土整備事務所	担当課長	管理担当
上杉 卓矢	技師	検査検定担当	産業技術総合センター	技師	材料技術担当
黒澤 祐希	技師	検査検定担当	交易社団法人埼玉県下水道公社 荒川左岸北部支社	技師	運転管理担当

（2）転入者

氏名	職名	担当	転入元	転入元職名	転入元担当
松本 修	担当課長	立入検査・登録指導担当	産業技術総合センター	担当課長	総務・経理・管理担当
女鹿 貴信	技師	検査検定担当	産業技術総合センター	技師	機械技術担当



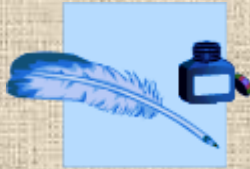


CALENDR 〔令和6年の実施事業及び予定事業〕

月 日	行 事 名	開 催 場 所
1月11日(木)	計量団体合同賀詞交歓会	ホテルグランドアーク半蔵門
12日(金)	商工団体等新春の集い	知事公館
19日(金)	(一社) 埼玉県計量協会第3回理事会 (一社) 埼玉県計量協会新年賀詞交換会	ホテルブリランテ武蔵野
31日(水)	第2回計量士部会	計量検定所 大会議室
2月8日(木)	関東甲信越計量団体連絡協議会運営委員会 関東甲信越計量団体連絡協議会代表者会議	計機械健保会館 会議室
16日(金)	関東甲信越計量団体連絡協議会(運営委員会)講習会	計量会館
21日(水)	協会報編集委員会	計量検定所 大会議室
28日(水)	主任計量者資格取得講習会(第2回)	計量検定所 大会議室
3月5日(火) ~6日(水)	関東甲信越計量団体連絡協議会事務担当者会議	山梨県甲府市 古名屋ホテル
14日(木)	(一社) 日本計量振興協会理事会	主婦会館 プラザエフ
25日(月)	(一財) 日本品質保証機構	計量計測センター
27日(水)	(一社) 埼玉県計量協会第4回理事会	計量検定所 大会議室
29日(金)	第22回全国計量士大会	仙台国際ホテル
4月18日(木)	(一社) 日本計量振興協会理事会	主婦会館 プラザエフ
24日(水)	県、特定市代表者会議	計量検定所 大会議室
25日(木)	関東甲信越計量団体連絡協議会運営委員会 関東甲信越計量団体連絡協議会代表者会議	計機械健保会館 会議室
5月1日(水)	第18回計量計測管理技術推進小委員会	計量検定所 大会議室
8日(水)	(一社) 埼玉県計量協会第1回理事会	計量検定所 大会議室
29日(水)	(一社) 日本計量振興協会第13回理事会	ホテルインターコンチネンタル東京ベイ
6月12日(水)	(一社) 埼玉県計量協会第12回定時総会	ホテルブリランテ武蔵野
20日(木)	測定基礎研修(川越市会場)	ウエスタ川越
7月17日(水)	(一社) 埼玉県計量協会第1回理事会	計量検定所 大会議室
24日(水)	主任計量者資格取得講習会(第2回)	計量検定所 大会議室
25日(木)	関東甲信越計量団体連絡協議会代表者会議	
9月5日(木)	関東甲信越計量団体連絡協議会代表者会議	
11日(水)	測定基礎研修(熊谷市会場)	熊谷さくらめいと
10月24日(木) ~25日(金)	関東甲信越計量団体連絡協議会計量大会	千葉県成田市
11月1日(金)	県民計量のひろば	DOM ショッピングセンター
25日(月)	測定基礎研修(さいたま市会場)	ソニックシティー
未定	適正計量管理主任者講習会(製造部門向け)	計量検定所 大会議室

記事担当：館野 裕美(事務局)





編集後記

この度、会報の編集並びに作成作業に前身の計量協会時代 H12 年(2000 年)から実際的な PC 編集業務に関与され、23 年以上の大変長い間携わられてこられた寺田編集委員長がご退任されました。この長年のご苦労に対して感謝するとともに、頭の下がる気持ちが絶えません。

なお、埼玉県計量協会報 No. 23 を発行するにあたっては、後を引き継いだ編集委員及び協会事務局のご協力を得て、慣れない編集作業を伴う困難な状況の中、計量協会報をリニューアルして発行を継続することで話が進み、ようやくこの度、協会員の皆様のお手元に届けることが出来ましたことは皆様のお力添えがあつてのことと感謝の気持ちでいっぱいです。

今後の編集の方向性としては、計量協会の広報誌としての役割を再確認し、編集委員に過度な負担にならないように継続性を考慮した内容にしていきたいと思ひます。

具体的には、計量協会の年間行事の進捗状況を分かりやすく簡潔にまとめ報告することがメインですが、計量に限らず、計量関係者の趣味や紀行文、その他についても書ける人がいれば出来るだけ広範囲に記事を掲載したいと思ひていますので、今まで個人として蓄積した事柄などを記事としてご提供いただけたらありがたいですし、研修会や講演会を開催時は、出席できなかった人がその概要が分かるような記事を掲載できればと思ひています。

編集委員としては協会事務局と一致協力し、計量協会報の今までの編集内容をリニューアルして、心機一転編集作業に取り組んでまいりますのでご意見ご希望等がありましたら、協会事務局までお寄せいただけたら幸いです。

編集委員長 恵田 豊

計量協会報 —第 23 号—

発行日：令和 6 年 7 月 15 日（年 2 回発行）

発行者：一般社団法人 埼玉県計量協会

計量協会報編集委員会

住 所：〒331-0825 埼玉県さいたま市北区櫛引町 2 丁目 254 番地 1

埼玉県計量検定所内

TEL：048-666-4787/FAX：048-668-0330

E-mail：soumu@saikeikyou.or.jp

会 長 金井 一榮

編集委員長 恵田 豊

編 集 委 員 寺田 三郎

岩田 哲士

佐々木幸司 杉田 博之

栗原 良一 舘野 裕美（事務局）



